



第12回北極域オープンセミナーとの連携国際オンラインワークショップ

「太平洋北極圏における持続可能なクルーズ産業の発展：過去の発展と将来の展望」

日時: 2021年12月8-9日 14:00-17:35(日本時間) / 8:00-11:35(モスクワ時間)

主催: 北海道大学(北極域研究センター(北極域研究共同推進拠点(J-ARC Net)、北極域研究加速プロジェクト(ArCS)II、日露経済協力・人的交流に資する人材育成プラットフォーム(HaRP))

共催: 極東北極圏開発機構、北極圏大学(UArctic)アジアにおける北極圏・北極圏におけるアジア分科会(UArctic Thematic Network on the Arctic in Asia, Asia in the Arctic)

対象者: ロシア、日本、(東アジア諸国を含む)その他の非北極圏諸国の研究者、学生、実務者。

開催形式: オンライン(Zoom)

言語: 日本語／英語／ロシア語(同時通訳)

概要: このワークショップでは、北海道、極東北極圏ロシア、オホーツク海・北太平洋・ベーリング海・チュコト海沿岸域の経済的、環境的、社会的に持続可能な責任あるクルーズ観光に関心を持つ研究機関、公的機関、民間企業、NPO法人の関係者が発表します。

このワークショップでは次のトピックが取り上げられます。環境保護、ガバナンスと規制、社会的操業許可、港湾・観光施設の整備、経済的妥当性、地域間協力、人材育成等。

このイベントは、HaRPの専門セクション「SDGs：環境・資源開発・多文化教育」、北極域研究加速プロジェクト(ArCS II)(特に研究プログラム「複雑化する北極域政治の総合的解明と日本の北極政策への貢献」およびそのサブグループ4「非国家主体とパラディプロマシー」と共同で開催された以下の一連のワークショップに続くものです。

1. セミナー1「マルチレベルガバナンスと地域間協力：Vol.1 太平洋北極圏」、開催日：2021年1月12日

2. セミナー2「北極圏と北方圏における日露の地域間協力－理論と実践」、開催日：2021年3月3日
3. セミナー3「(マルチレベルガバナンスと地域間協力：Vol.2 バレンツ地域」、開催日：2021年6月9日
4. セミナー4「マルチレベルガバナンスと地域間協力：Vol.3 北極圏における持続可能な地域発展、国際協力、環境保護」、開催日：2021年9月14日
5. セミナー5「ロシア極東とアジア側の北極の発展に向けたアジア太平洋地域における越境地域間協力」、開催日：2021年10月18日

申込方法: 下記の URL (Google Form) より 12月3日(金) までに参加申請を行ってください。

<https://forms.gle/vkm5QvHkTNc68HBj9>

問合せ先: ご不明な点がございましたら、北海道大学北極域研究センターまでお問い合わせください。

田中 雅人 教授 mtanaka@arc.hokudai.ac.jp

サウナワーラ ユハ 助教 juha.saunavaara@arc.hokudai.ac.jp

ロマーエヴァ マリーナ 国際・人材交流コーディネーター
m.v.lomaeva@arc.hokudai.ac.jp

プログラム

1 日目：持続可能な観光と環境保護

12月8日（水）、14：00－17：00（日本時間）/ 8：00－11：00（モスクワ時間）

日本時間	プログラム
14:00-14:10	開会の挨拶：大塚夏彦(北海道大学 北極域研究センター (HU ARC)) モデレーター：ユハ サウナワラ、マリーナ ロマーエヴァ (HU ARC)
14:10-14:25	三谷 曜子（京都大学野生動物研究センター教授）「海棲哺乳類と持続可能な観光の展望」
14:25-14:40	敷田 麻実（北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)、知床国立公園）「知床国立公園（UNESCO 指定世界遺産地域）におけるエコツーリズムの課題と展望」
14:40-14:50	Anastasia Kuznetsova（コマンドルスキー諸島自然保護区管理局長）「保護地域における観光—コマンドルスキー諸島自然保護区の取り組み—」
14:50-15:00	Roman Korchigin（クロノツキー自然保護区 管理局次長 研究・エコツーリズム担当）「クロノツキー自然保護区及び持続可能なクルーズ観光」
15:00-15:10	Alexander Gruzdev（ヴランゲリ島自然保護区管理局長）「ヴランゲリ島自然保護区における教育観光の発展とクルーズ業者との連携」
15:10-15:25	質疑応答 (15 min.)
15:25-15:35	休憩 (10 min.)
15:35-15:50	Gennady Zelensky（非営利パートナーシップ・チュクチ自治区国際研究支援グループ長）「チュクチ自治区における国際プロジェクトの実施事例—外国の旅行業者に役立つヒント—」
15:50-16:05	Dmitry Glazov（ロシア科学アカデミー生態進化研究所、ロシア海棲哺乳類協議会）「ロシア科学アカデミー生態進化研究所のロシア北極圏におけるロシア海棲哺乳類研究プログラム」
16:05-16:20	Stanislav Belikov, Angelina Gnedenko, Darya Chernyshova（ロシア連邦天然資源環境省附属全ロシア環境保護研究所）、Olga Shpak（ロシア科学アカデミー生態進化研究所）「海洋観光によるホッキョクグマとホッキョククジラのオホーツク海個体群への影響、その利用と保護関係法令」
16:20-16:35	児矢野 マリ（北海道大学法学研究科教授）「日露越境環境協力と国際法」
16:35-16:50	質疑応答 (15 min.)

日本時間	プログラム
16:50-17:00	閉会の挨拶：田中 雅人(HU ARC)

2日目：クルーズ業界、地域コミュニティ、地域間協力、人材育成

12月9日（木）、14：00－17：35（日本時間）/8：00－11：35（モスクワ時間）

日本時間	プログラム
14:00-14:10	開会の挨拶：ユハ サウナワーラ、マリーナ ロマーエヴァ(北海道大学北極域研究センター)
14:10-14:25	佐藤 知至（北海道 総合政策部 国際局 国際課 ロシア担当課長）「ロシア極東3地域との観光分野における交流」
14:25-14:40	水上 貴文（小樽市 産業港湾部 港湾室 港湾振興課 主査）「小樽港のクルーズ振興と整備」
14:40-14:55	Elena Zaostrovskikh（ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所研究員）「ロシア極東及び北極圏におけるクルーズ観光業の発展の動向」
14:55-15:05	Georgiy Emelin（カムチャッカ観光協会会長）「ロシア極東北極圏におけるクルーズ観光の現状」
15:05-15:15	Anna Russkikh/Vulk'yn'yuv（カムチャッカ・先住民族コリヤーク人代表）「カムチャッカ先住民族の視線で見るエコツーリズム」
15:15-15:30	岡田 真弓（北海道大学 観光学高等研究センター 准教授）「北海道における観光振興の動向とアイヌ・コミュニティ」
15:30-15:45	質疑応答 (15 min.)
15:45-15:55	休憩 (10 min.)
15:55-16:10	Valeryi Nagornyi (Vladivostok Sea Terminal LLC 代表取締役)「ロシア太平洋地域におけるクルーズ観光の現況と発展展望」
16:10-16:25	Valeria Galchenko, Anastasia Polomarchuk, Ekaterina Andreeva, Anna Veshkurtseva, Alina Papirosova, Valery Gordin（高等経済学院サンクトペテルブルクキャンパス）「観光客の目線で見えた北極圏クルーズ—パイロットプロジェクトの結果と今後の研究展望—」
16:25-16:40	Vasily Grudev（サハリン州投資振興局長）「サハリンにおける観光振興策」

日本時間	プログラム
16:40-16:50	Sergey Khvorostyanny (Vasta Discovery LLC) 「持続可能な観光と地域総合開発の成功事例となるカムチャッカ三火山公園—カムチャッカにおけるクルーズ観光の発展展望—」
16:50-17:05	Alexey Limanzo (サハリン州議会北方先住少数民族代表) 「サハリンにおける持続可能な観光発展と先住民族の参加」
17:05-17:20	質疑応答 (15 min.)
17:20-17:35	閉会の挨拶： Roman Sementsov (ロシア極東北極圏開発機構常務取締役) 「極東北極圏クルーズ業の発展—日露協力の展望—」